

# 2020年3月期 決算補足説明資料

2020年4月30日

## 伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部：8133)

## ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。  
「営業活動に係る利益」 ⇒ 「営業利益」  
「当社株主に帰属する当期純利益」 ⇒ 「当期純利益」

# I. 全社決算概要



# 2020年3月期 決算/サマリー

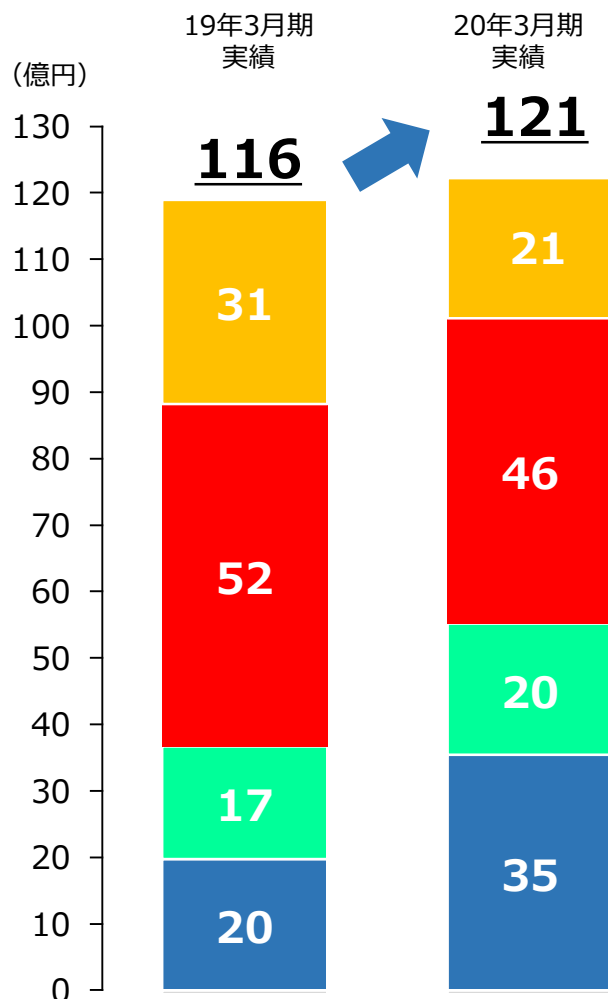
## 当期純利益は5期連続で過去最高益を更新！

(億円)	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	20年3月期 計画	達成率
売上収益	10,071	8,974	△ 1,097	10,000	90%
売上総利益	842	864	+ 22		
販管費	▲673	▲689	△ 15		
営業利益	179	193	+ 14	165	117%
持分法による投資損益	16	18	+ 2		
当期純利益	116	121	+ 5	118	102%
配当 (円/株)	42	44	+ 2	42	—
ROE (%)	9.7	9.6	△ 0.1	9%以上	—
EPS (円/株)	102.4	106.8	+ 4.4		

- 「当期純利益」は、前年比4.3%・5億円増加となり、過去最高益更新。  
電力・ユーティリティ事業が、大幅増益により利益を牽引。
- 「売上総利益に対する販管費率」は、79.7%と、引続き適切に経費をコントロール。
- 年間の配当金は1株当たり44円となり、7期連続の増配となる予定。

# セグメント別 当期純利益

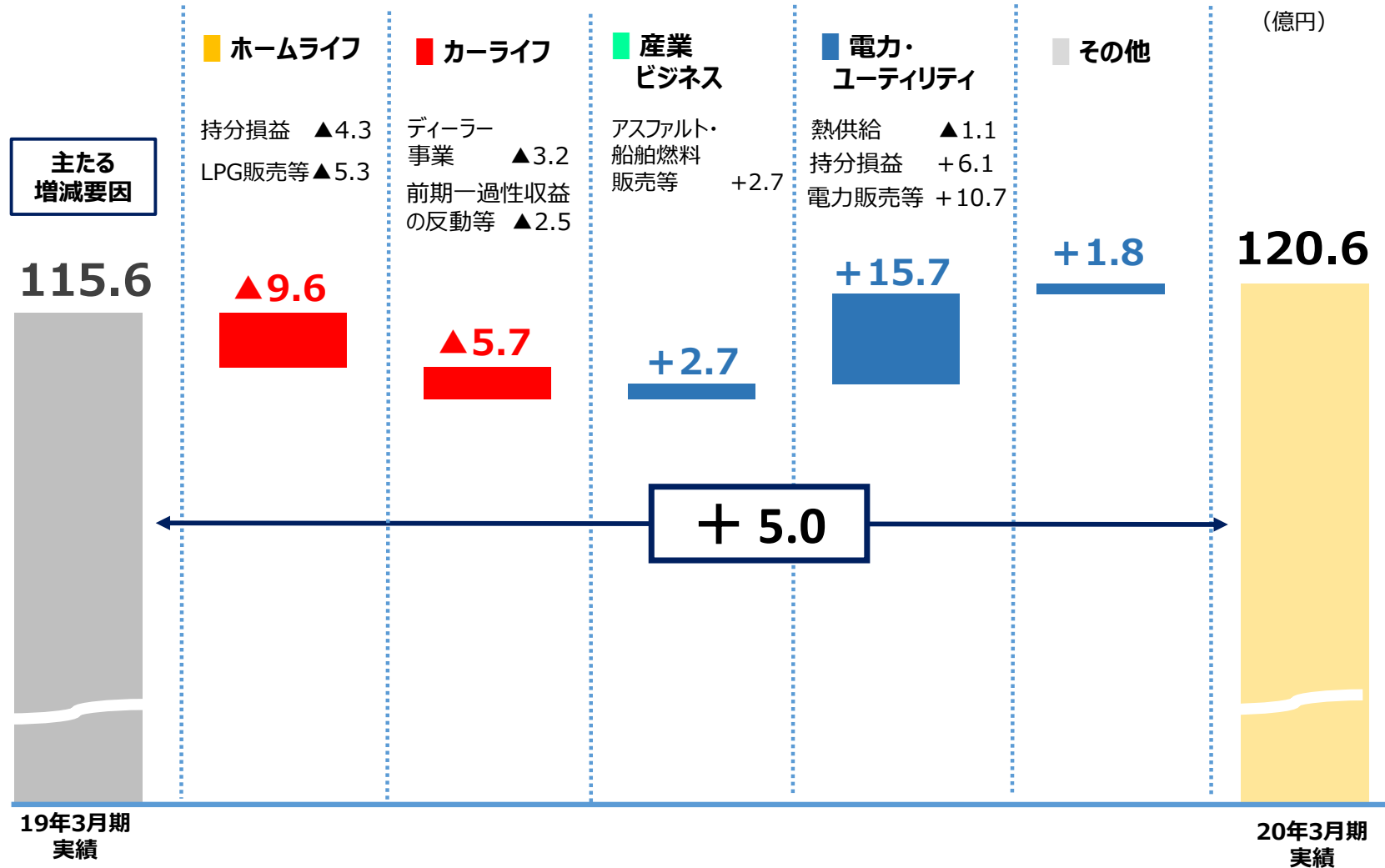
## 電力・ユーティリティが大幅増益により、利益を牽引



### 主たる増減要因

- **ホームライフ (前年同期比 :  $\Delta$ 10億円、計画達成率 : 72%)**  
 直売顧客軒数は、前期末より微増の、551千軒。販売数量は暖冬の影響により減少。損益面は、LPガス輸入価格下落による在庫影響等により、減益。
- **カーライフ (前年同期比 :  $\Delta$ 6億円、計画達成率 : 119%)**  
 石油製品の販売数量は前年同期を下回る。損益面は、小売市況が堅調に推移し利幅確保したものの、自動車ディーラー事業の販売台数の減少と前期に認識した一過性収益の反動により減益。
- **産業ビジネス (前年同期比 : +3億円、計画達成率 : 105%)**  
 産業用石油製品の販売数量は前年同期を下回るものの、アスファルトや国内の船舶燃料の販売が好調に推移し、増益。
- **電力・ユーティリティ (前年同期比 : +16億円、計画達成率 : 109%)**  
 小売電力販売量は前年同期を下回るものの、電力調達の安定化等により、利幅改善。また、持分法適用会社からの取込利益増加等により、増益。

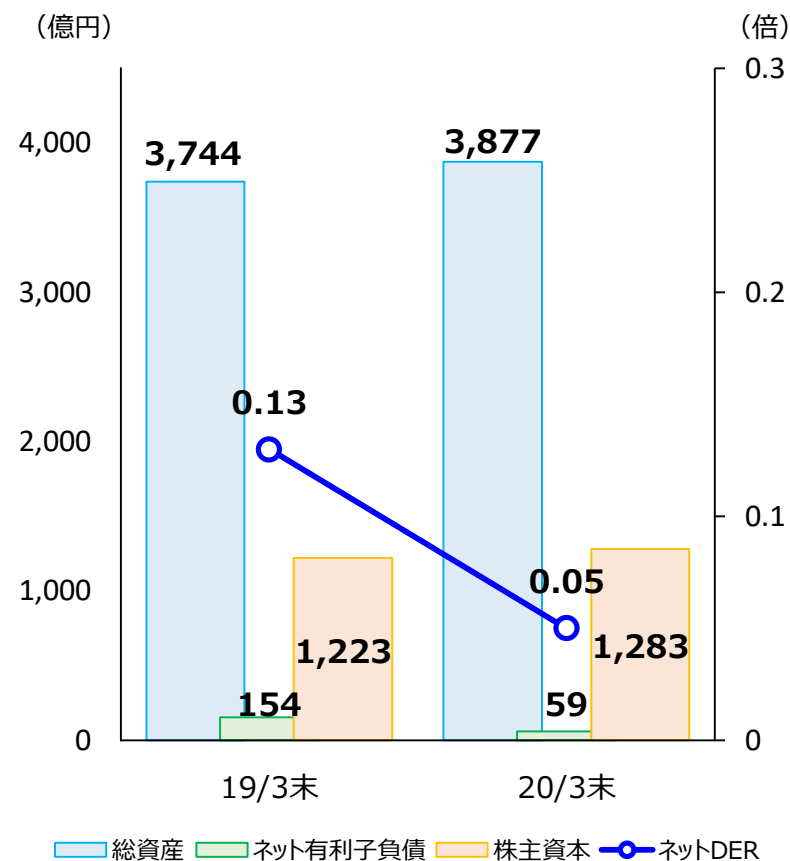
# セグメント別 当期純利益分析



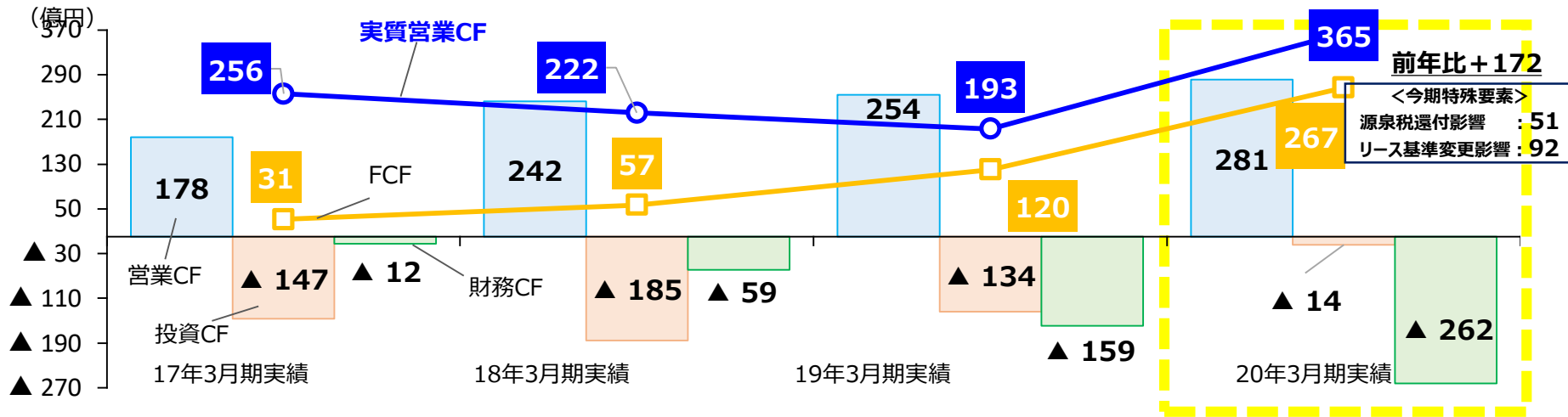
## 会計基準の変更によりリース資産増加

- 総資産：IFRS第16号の適用等によりリース資産が増加。
- 株主資本：当期純利益の積上げ等により、前期末比60億円増加し**1,283億円**。
- ネットDER：有利子負債返済により減少。

	(億円)		
	19年3月末 実績	20年3月末 実績	増減
総資産	3,744	<b>3,877</b>	<b>+133</b>
ネット有利子負債	154	<b>59</b>	<b>△95</b>
株主資本	1,223	<b>1,283</b>	<b>+60</b>
株主資本比率	32.7%	<b>33.1%</b>	<b>+0.4pt</b>
ネットDER	0.13倍	<b>0.05倍</b>	<b>△0.08</b>



# キャッシュ・フロー 営業CF、実質CFともに前年を大きく上回る



キャッシュ・フロー	17年3月期実績	18年3月期実績	19年3月期実績	20年3月期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	178	242	254	281
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲147	▲185	▲134	▲14
(フリー・キャッシュ・フロー)	31	57	120	267
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲12	▲59	▲159	▲262
<b>実質的なキャッシュ・フロー</b>				
実質営業キャッシュ・フロー (※)	256	222	193	365

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



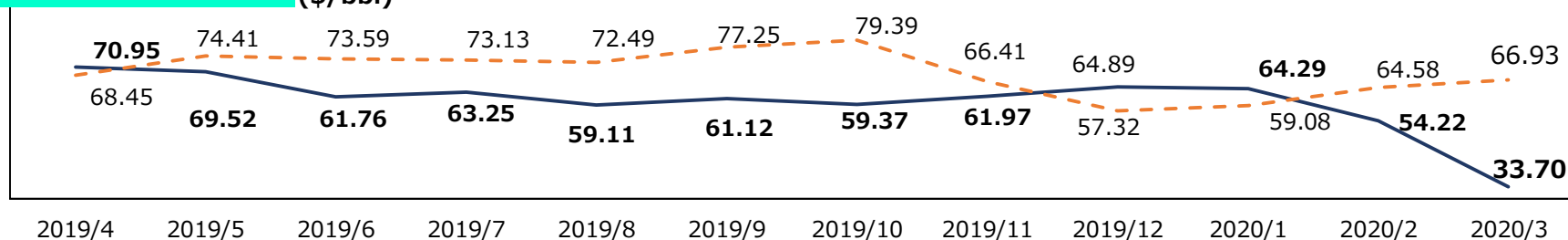
# (参考) 市場動向

## 原油価格は新型コロナウイルスの影響により不透明

実線：直近値 点線：前年同月

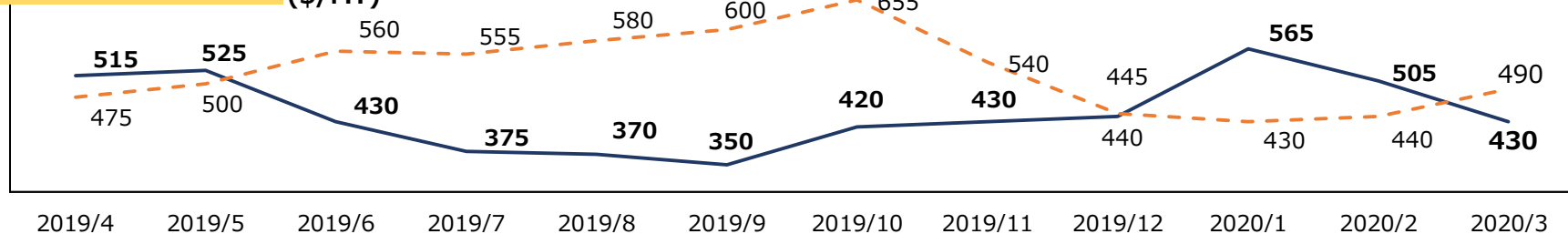
### Dubai原油価格推移

(\$/bbl)



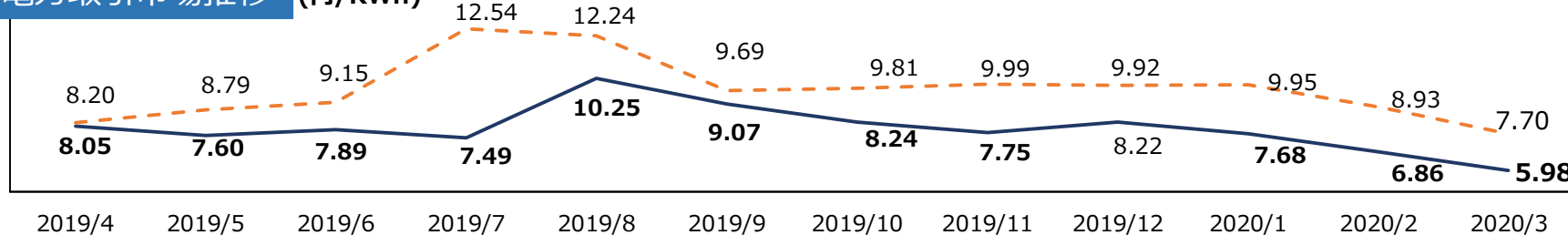
### プロパンCP価格推移

(\$/MT)



### 卸電力取引市場推移

(円/KWh)



## Ⅱ. セグメント情報



# セグメント別業績

(億円)

		19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	増減率 %	20年3月期 計画	達成率
■ 全社	売上収益	10,071	<b>8,974</b>	△1,097	△10.9	10,000	90%
	営業利益	179	<b>193</b>	+ 14	+ 7.9	165	117%
	当期純利益	116	<b>121</b>	+ 5	+ 4.3	118	102%
■ ホームライフ	売上収益	944	<b>891</b>	△ 53	△ 5.6	—	—
	営業利益	36	<b>28</b>	△ 8	△21.3	—	—
	当期純利益	31	<b>21</b>	△ 10	△31.1	30	72%
■ カーライフ	売上収益	6,243	<b>5,427</b>	△816	△13.1	—	—
	営業利益	92	<b>82</b>	△ 10	△10.7	—	—
	当期純利益	52	<b>46</b>	△ 6	△11.0	38	119%
■ 産業ビジネス	売上収益	1,949	<b>1,752</b>	△198	△10.2	—	—
	営業利益	25	<b>28</b>	+ 4	+14.7	—	—
	当期純利益	17	<b>20</b>	+ 3	+16.0	19	105%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	935	<b>905</b>	△ 30	△ 3.2	—	—
	営業利益	27	<b>58</b>	+ 31	+113.5	—	—
	当期純利益	20	<b>35</b>	+ 16	+ 79.5	33	109%

# ■ ホームライフ部門

## LPガス輸入価格下落による在庫影響により、減益

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 計画	達成率
売上総利益	224	<b>220</b>	△ 4	直売顧客軒数は、前期末より微増の、551千軒。販売数量は暖冬の影響により減少。損益面は、LPガス輸入価格下落による在庫影響等により、減益。	30	72%
販管費	▲189	▲ <b>194</b>	△ 5			
営業利益	36	<b>28</b>	△ 8			
持分法損益	13	<b>8</b>	△ 4			
<b>当期純利益</b>	31	<b>21</b>	△ 10			

主な関係会社損益	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
伊藤忠エネクスホームライフ西日本	9	7	△ 2
エコア（当社持分51%）	7	7	+ 0
エネアーク（当社持分50%）	7	9	+ 2

顧客軒数(千軒)	19年 3月末	20年 3月末	増減
LPガス直売軒数	551	551	+ 0
電力小売軒数	81	98	+ 17

販売数量	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
LPガス(千トン)	548	525	△ 4%
産業用ガス(百万m <sup>3</sup> &千トン)	80	74	△ 7%
耐圧処理本数(千本)	336	332	△ 1%

# カーライフ部門

## 車販売台数減少と前期一過性収益の反動により、減益

(億円)

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 計画	達成率
売上総利益	495	<b>492</b>	△ 2	石油製品の販売数量は前年同期を下回る。損益面は、小売市況が堅調に推移し利幅確保したものの、自動車ディーラー事業の販売台数の減少と前期に認識した一過性収益の反動により減益。		
販管費	▲411	▲ <b>413</b>	△ 2			
営業利益	92	<b>82</b>	△ 10			
持分法損益	1	<b>1</b>	+ 0			
<b>当期純利益</b>	52	<b>46</b>	△ 6			

主な関係会社損益	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
エネクスフリート	12	15	+ 3
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	9	6	△ 3

販売数量	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
ガソリン(千KL)	3,034	2,600	△14%
内訳) CS向け	2,099	1,960	△ 7%
その他	935	640	△32%
灯油(千KL)	980	767	△22%
軽油(千KL)	2,822	2,632	△ 7%
新車(千台)	30	27	△10%
中古車(千台)	25	24	△ 4%

# 産業ビジネス部門

## アスファルト、国内船舶燃料の販売好調により、増益

(億円)						
	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 計画	達成率
売上総利益	52	<b>56</b>	+ 4	産業用石油製品の販売数量は前年同期を下回るものの、アスファルトや国内の船舶燃料の販売が好調に推移し、増益。		
販管費	▲27	<b>▲29</b>	△ 2			
営業利益	25	<b>28</b>	+ 4			
持分法損益	0	<b>0</b>	△ 0			
<b>当期純利益</b>	17	<b>20</b>	+ 3			
					19	105%

販売数量	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
ガソリン(千KL)	144	146	+ 1%
灯油(千KL)	235	216	△ 8%
軽油(千KL)	667	647	△ 3%
重油(千KL)	1,919	1,844	△ 4%
アスファルト(千t)	357	370	+ 4%

# 電力・ユーティリティ部門

## 利幅改善、取込利益増加等により、増益

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 計画	達成率
売上総利益	71	<b>96</b>	+ 25	小売電力販売量は前年同期を下回るものの、電力調達の安定化等により、利幅改善。また、持分法適用会社からの取込利益増加等により、増益。	33	109%
販管費	▲47	<b>▲48</b>	△ 1			
営業利益	27	<b>58</b>	+ 31			
持分法損益	2	<b>8</b>	+ 6			
<b>当期純利益</b>	20	<b>35</b>	+ 16			

主な関係会社損益	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
エネクス電力グループ	10	10	△ 0
エネクスライフサービス	2	3	+ 1
東京都市サービス (当社持分66.6%)	9	8	△ 1
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	0	8	+ 8

販売数量	19年3月期 実績	20年3月期 実績	増減
電気小売(GWh)※	2,694	2,387	△11%
内訳)高圧販売※	2,383	1,948	△18%
低圧販売※	310	439	+41%
蒸気(千トン)	611	506	△17%
熱量(TJ)	1,315	1,258	△ 4%

(※速報値ベースでの算出)

## Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症への対応



## ・サプライチェーンへの影響と取組み

石油	: 休止拠点無し。CS拠点の環境消毒の徹底。
LPガス	: 休止拠点無し。インフラ維持業務（保安、配送、等）に注力。 感染者発生時には、近隣店舗や協力業者と連携し対応。
電力	: 休止拠点無し。発電所各サイトで日々の検温を義務化。
熱供給	: 各サイトの遠隔監視を2班体制で運用。
自動車	: ディーラー店舗は、時短営業。環境消毒の徹底。

## ・販売・サービスにおける影響

- ・ 経済活動の停滞による産業用エネルギー需要の減少
- ・ 外出自粛による業務用エネルギー（飲食店、観光地、等）、ガソリン需要の減少

## ・BCPの取組み

- ・ 社長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置
- ・ テレワーク環境の整備強化（TV会議・電話会議・ネットワーク増強）
- ・ 在宅勤務、時差出退勤、3密を避けた座席配置
- ・ 手洗い、消毒、うがい、換気、環境消毒の推進
- ・ 大人数が集まる会議、集会、研修等の自粛・延期
- ・ 国内、海外の出張自粛
- ・ 会食の自粛

## ・財務状況

- ・手元流動性は十分確保
- ・ネットDER:0.05倍(実質無借金)
- ・十分な当座貸越枠並びに社債(CP)発行枠を確保
- ・格付け維持  
JCR社 長期格付け：A+ / 短期格付け：J-1  
※2020年4月時点の評価

(億円)

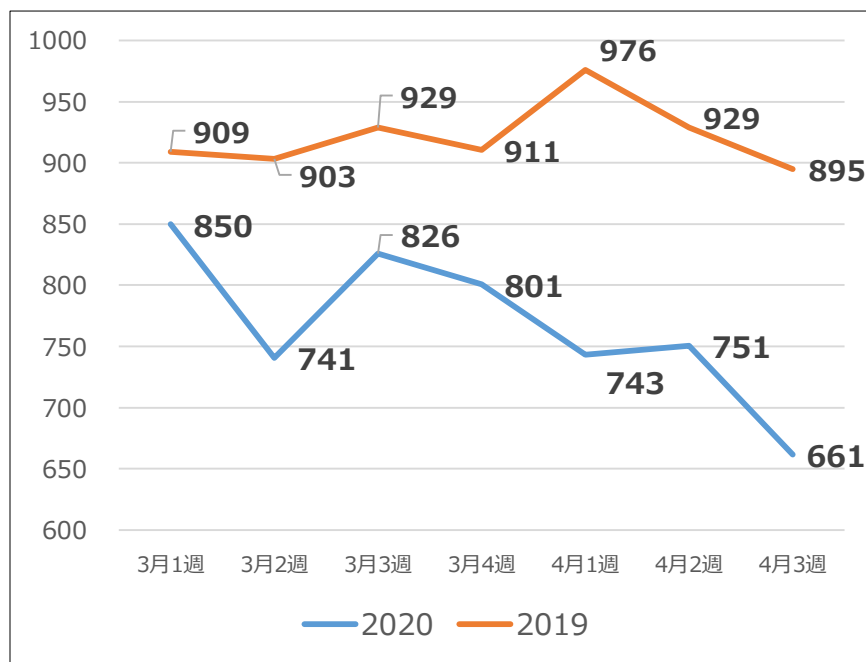
	19年3月末 実績	20年3月末 実績	増減
現金及び 現金同等物	187	192	+5
その他の 短期金融資産	360	281	△79

## ・次期の業績見通し

次期の業績見通しにつきましては、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による、経済活動の停滞や投資減速、また、外出自粛が継続することによる個人消費の低迷等、現時点で今後の動向を予測することが難しく、先行きの不透明感が増しております。エネルギー業界におきましても、生産活動縮小による産業分野の需要減少等、エネルギー消費に影響を及ぼす状況が続いております。このような状況等をふまえ、現時点では、業績に与える影響に未確定な要因が多いことから、**2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難であると判断し、未定**としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

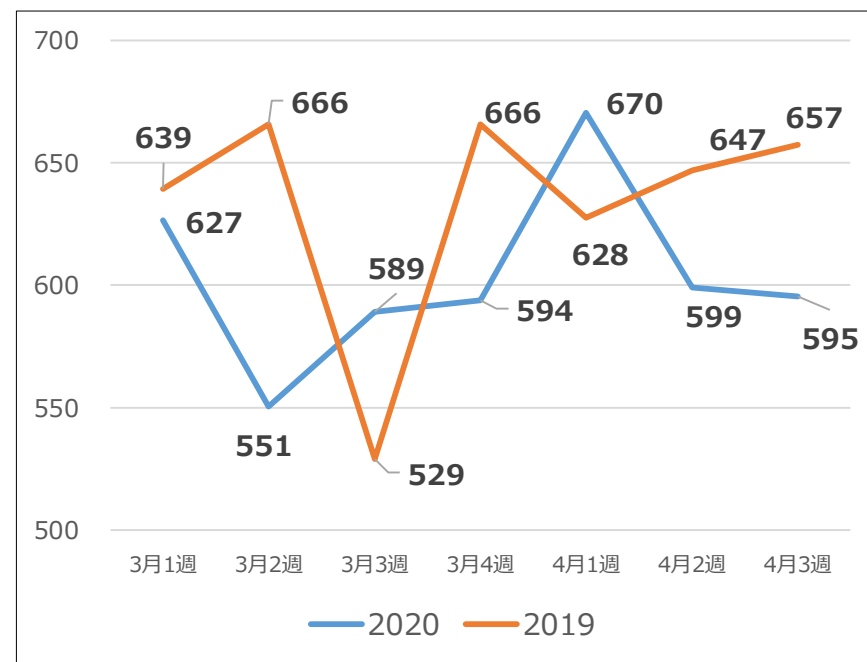
## 【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

### ガソリン週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

### 軽油週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

## 【参考】 LPガス・新車の販売量(全国統計)

### LPガス(プロパン)／月別販売数量(1月・2月) 単位(千t)

	1月			2月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減
家庭・業務用	827	780	△6%	795	747	△6%
自動車用	5	5	△8%	5	4	△6%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

### 新車／月別販売台数(登録車)(1月～3月) 単位(千台)

1月			2月			3月		
2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
249	221	△11%	300	268	△11%	417	375	△10%

※ 日本自動車販売協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション室

担当：國貞、今泉、和田

【TEL】03-4233-8003      【FAX】03-4533-0102

【E-MAIL】[enex\\_irpr@itcenex.com](mailto:enex_irpr@itcenex.com)